

新たなコミュニティづくりを目指す北斗福祉村の取り組みをお伝えします

地域のしずく

庭を育む地域のしずく

2026

4

Free

星の庭ガーデンズクラブ特集
〜庭がつくるサードプレイス〜



北斗福祉村構想と庭の役割

～誰もが主役になれる場所～

私たちの活動の原点は「北斗福祉村構想」にあります。医療と介護が統合し、新たなコミュニティが生まれる場所。障がいの有無や年齢を問わず、誰もが生きがいを持ち、安心して暮らせる地域を目指して、この庭は産声をあげました。



活動の4つの柱

1. コミュニティの活性化に関すること
2. 植物・ガーデンの魅力発信に関すること
3. 高齢者・障がい者支援、健康の維持・増進に関すること
4. その他、北斗福祉村ガーデン星の庭一帯を活用した取り組みに関すること



冬でも集い、笑い合える拠点「星のひろば」

西側の一角にたたずむ平屋の「星のひろば」は20～30名が集うことのできる地域交流の拠点。庭が雪に覆われる冬期間も、ここではクラフト講座やワークショップなど、温かな時間が流れています。



地域と世代が集う、垣根のないみんなの庭

東西に広がる広大な庭は、施設利用者さまだけでなく、地域の方々が自由に散策できる場所です。小さなお子さんが走り回り、高齢者の方が草花を愛でる。障がいの有無を問わず、多世代が同じ風を感じられる風景がここにはあります。

帯広市とともに歩む、まちづくりの新たな拠点

帯広市の第7期総合計画「ともに支えあい、子どもも大人もすこやかに暮らせるまち」と、私たちの目指すゴールが重なり、官民一体となったまちづくりが加速しました。地域の力を生かしながら、持続可能なまちづくりを進めています。



星の庭ガーデナーズクラブ

～ 活動の魅力とボランティアの想い～

「星の庭ガーデナーズクラブ」は今年度で6年目を迎えています。今回ガーデナーズクラブのみなさまにアンケートを実施し、その結果からボランティア活動の価値と、活動の喜びやつながり、庭の魅力を紹介します。

北斗福祉村ガーデン星の庭ガーデナーズクラブとは星の庭の維持管理を通じて、交流やつながりづくり、生きがいづくりを目指し、月2回(毎月第2・4水曜)2時間程度、年間を通じて活動をおこなっています。



ガーデナーズクラブのみなさんが
実感する「活動の価値」

実践的な「学び」と「自己成長」



「色々なことを学べる。」
「やったことのないことができる。お米の脱穀をしたり草木染めをしたり。」

世代を越えた「交流」と「つながり」



「幅広い年代の方々とのコミュニケーション。」
「ボランティア同士での交流が楽しい。」

社会参加による
「心の充実」

「何もない日々の中で充実した時間を過ごせる。」
「仕事をしていなくてもつながりがあって、人のために生きていると思えて幸せです。」



星の庭まつり(収穫祭)やガーデンコンサートなどで助け合い支え合う関係性



「イベントでも互いに助け合ったり支え合ったりする関係性。」
「初めての収穫祭の花束づくりは忙しかったけれどとても喜んでもらった。」



活動における主な課題と今後の展望



夏の厳しい暑さや
広大な面積の除草作業!

「庭の面積が広いので、ボランティア活動で十分に対処できていない様に感じる」
「草取りが大変な夏秋だけでもボランティア活動日を増やしてもいいのでは。」

星の庭が愛される

「3つの魅力」

お互いを尊重する
「心地よい雰囲気」

「命令されない、否定されない。自由にやらせてもらえて感謝しています。」
「みんなが同じ立場でそれぞれの個性を大切にしている。」



五感に触れる
心地よいデザイン

「珍しい北海道ならではの宿根草にたくさん出会えるところ。」
「パノラマ屋上ガーデンは、十勝の大地を眺めながら、作業ができるので好き。」



笑顔分かち合う
「感動の瞬間」

「頑張った達成感と成果を分かち合うこと。」
「ちょっと困難(大変な作業)でもみんなでやり遂げた時の達成感!」

ボランティアメンバー同士の
より深い学びの機会の創出

「定例ボランティア活動日以外の拠点の活用ができれば、サードプレイスとして機能しそう」
「もっとボランティアメンバーだけで学びを深めたい。」





令和7年度事業報告と活動のあゆみ

令和7年4月～令和8年2月／延べ人数



広がる輪、つながる庭

庭を舞台に、新しい交流が芽吹いた一年。ガーデンコンサートやホースセラピーを通じ、世代や障がいを超えて誰もが主役になれる場所へ。植物と命のぬくもりが、地域共生の輪を広げています。



春 | 新緑にひびくガーデンコンサート

新緑まぶしい5月、ボランティアさんと創る音楽と踊りの舞台。音色に誘われ体が動き出す自由な時間は「誰もが主役」という温かな共生のかたちが芽吹いた瞬間でした。

夏 | 帯広畜産大学との連携で学ぶ「命の循環」

帯広畜産大学との連携が生んだ「生きた学び」。堆肥作りや陸稲栽培を通じ、共に土を耕す喜びが広がっています。知恵という栄養が、庭と私たちの未来を豊かに育んでいます。



秋 | 心を通わせる「ホースセラピー」

9月の「星の庭まつり」に畜大のお馬さんが登場！馬との再会に目を細める利用者さまと、初めての体験に瞳を輝かせる子どもたち。エサやりを通じ命のぬくもりを分かち合う、十勝らしい穏やかな秋の一日となりました。



冬 | 新春を彩る琴の調べ

1月、帯広北高等部の生徒さんたちがデイケアを訪れ、美しい音色を届けてくれました。お正月の名曲が響くと一気に華やかな雰囲気。卒業を控えた3年生のひたむきな演奏に利用者さまも聴き入り、心豊かな一年の幕開けとなりました。

星の庭ガーデナーズクラブ

全16回



126人

あやとり園芸サークル

全44回



554人

第二ひまわり幼稚園との食育活動 (当施設畑にて)

全5回



135人

園芸療法ボランティア

全16回



24人

ガーデナー養成講座

全6回



48人

帯広北高等学校 花壇整備他

全4回



36人

帯広畜産大学協同 事業

全3回

15人

星の庭まつり 運営ボランティア ※

★★119人

新緑まつり参加協力

▲▲▲7人

ガーデンコンサート主催

🎸🎵6人

※300名を超えるおまつりの参加者他、ボランティアとして、帯広北高校・帯広南商業高校・更別農業高校・帯広医師会看護専門学校・帯広畜産大学の生徒学生のみなさんにご協力いただきました！ありがとうございました。

【その他】「地域のしずく」5号発行、花コミュニケーションとかち出品(更別農業高校花苗他)

幼稚園の園児さんからあやとり園芸サークルのみなさま等、多世代の方に星の庭を活用していただき年間延べ1,070名の方々にご参加いただきました。



星の庭まつり



新緑まつり



帯広北高校



第二ひまわり幼稚園



星の庭通信

～専属ガーデナーと歩む新しい「星の庭」の物語～



昨年、専属ガーデナーが仲間に加わり庭園管理がより手厚くなりました。命の営みを尊重し、隙間を埋め整える細やかな手入れが「星の庭」の美しさを守ります。今年はボランティアさんと共に庭を刷新し、新しい草花も仲間入り。春から秋へと続く「花のバトンリレー」は、いっそう鮮やかな彩りを見せてくれるはずです。どうぞご期待ください！



鈴木 智子
趣味／キャンプ
スポーツ観戦

特技／写真撮影
好きな花／ダリア・ライラック
好きな庭作業／植えつけ・剪定

専属ガーデナー紹介 庭を支える「人」の想い

星の庭でガーデナーをしている鈴木です。この仕事は、土や植物と関わりながら、四季折々の美しさや喜びを見つけることができる素晴らしい仕事です。ここでは、宿根草を中心にさまざまな花や植物を楽しめます。訪れるたびに違う表情を見せてくれますので、ぜひ季節を変えて足を運んでみてください。施設の利用者の方々はもちろん、地域の皆さまにも身近に感じていただける、愛される庭となっていけたら嬉しいです。



ボランティアガーデナー 養成講座第9期募集

5月開始
予定

園芸の基礎知識、植物の利用法やコミュニティガーデン、園芸療法について学んでみませんか？星の庭では地域に根ざした交流の場づくりや、仲間づくりを目的とした活動を行っています。

お問い合わせ

〒080-0833 帯広市稲田町基線2番地1 介護老人保健施設かけはし 担当：庄田 香澄(ガーデナー/園芸療法士)

0155-47-4184 gardener@hokuto7.or.jp

地域がすく

Instagram
日々の様子を発信中！



〒080-0833 北海道帯広市稲田町基線2番地1 ☎0155-47-4184 第6号 2026年4月発行

ご不明な点、お問い合わせはこちらまでお願いいたします。 発行 社会医療法人 北斗 発行人：橋本 郁郎

©2025 社会医療法人 北斗 / 本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為はご遠慮ください。